

第2回 住生活基本計画策定委員会 議事要旨

日時 : 平成 21 年 11 月 12 日 (木) 10 : 00~12 : 10

場所 : 松戸市役所 議会棟 2 F 第三委員会室

議題1 第1回委員会での指摘事項等について

- ・ 父子、母子世帯の推計結果の妥当性を確認する必要がある
⇒それぞれの世帯数を担当課が持っているか確認し、それがあれば妥当性の確認を行う

議題2 上位計画・松戸市の既往施策・基本方針について

- ・ 国、県などの成果指標に対して、松戸市の現状値に加え、近隣市とで比較ができるものがあると将来目標を設定するときの参考になる
- ・ 耐震診断や改修などの助成の活用状況を整理するとともに、制度が利用されていない原因の見当が必要である
- ・ 木造アパートへの適用や墨田区のみ耐震など、耐震化の促進に向けた検討が必要ではないか
- ・ URの大規模団地は概ね一団地認定で、賃貸と分譲が混在しており、分譲の人の今後への対応を課題として検討することが必要である
- ・ ファミリー層の転出という課題について、近隣市より低いのでそこまで上げていくのか、同程度だけれどもその上に行くのか、といった重み付けを示していくべき
⇒以前に市で調べたものがあるので、それを用意する
- ・ ファミリー層の定住施策として住マスで何をやってきたのか、できたものとできなかったものを整理していく必要がある
- ・ 各年代層を個別に捉えるのではなく、それぞれが連携してコミュニティの形成につなげるべきではないか
- ・ セーフティーネットとして福祉との連携が重要であるが、高齢者だけでなく、障害者も地域社会に出て普通の生活を行っているので、その視点も重要である
- ・ 住宅施策としては高齢者や障害者のグループホームがあると思うので、そういった視点を加えられると良い
- ・ 耐震化やバリアフリー化、環境にやさしい住宅など、市民への住教育の浸透が重要であり、授業での家庭科や出前講座などを充実していくべき
- ・ わかりやすい相談窓口の確保を加えてもらいたい

⇒基本方針に落とせるもの、施策としていくものを整理して、基本方針の見直しを行いたい

- ・基本方針に、安全（セーフティーネット、耐震、公共住宅など）、環境、松戸の緑や歴史、人材など、実現する仕組み（住教育、業者が集まるプラットホーム、庁内の体制など）などの視点も入れて、再度組み替えていく
- ・県では住宅課だけで住生活を網羅できないので、協力を受けないといけない部署の仕事をいかに上手く噛み合わせていくかを考えている

議題3 千葉県計画での設定指標における松戸市の状況について

- ・成果指標をどのような項目としていくかについては今後も出てくるので、ご意見があれば事務局へメール等でも出してもらいたい

その他

- ・議事録署名は、鈴木委員にお願いする。
- ・次回の日程は、1/28（木）の午後とし、会場は紙面で通知する。